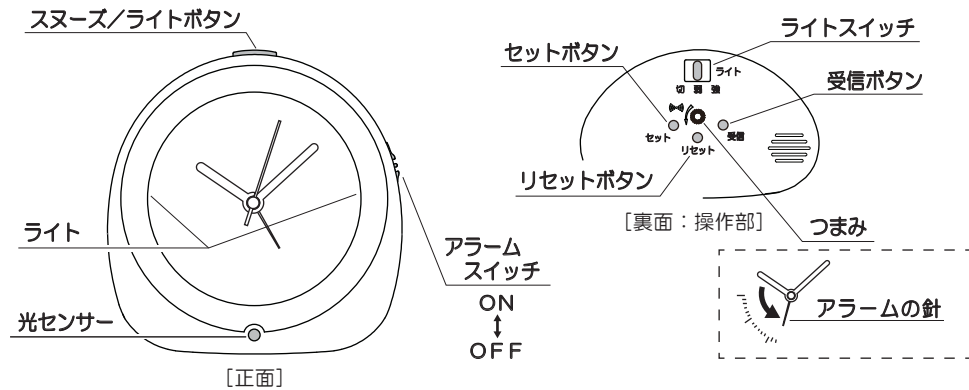


ご使用方法

■ 付属品 ご使用の前にご確認ください

- 取扱説明書（保証書） 1枚
- 単3形乾電池 4個

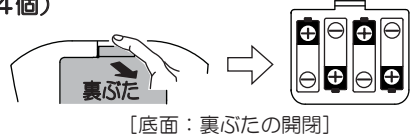
■ 操作部 時計のデザインにより電池、ボタン、ライトの位置等は異なる場合があります。



■ ご使用方法

1. 電池を入れてください（単3形乾電池4個）

- ① 手前に引いて裏ぶたを開けてください。
- ② 電池を入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえないようご注意ください。



2. リセットボタンを押してください

- リセットボタンを先端の細いもので押してください。
受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。
- 時分秒針が早送りで「12時の位置」で停止し、電波受信を開始します。
- 受信に要する時間は、最長約16分間です。

<受信に成功した場合>

自動的に時分秒針を現在時刻に合わせます。

<受信できなかった場合>

時刻を修正しないで12時から針が動き出します。
右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

3. 時計を置いてください

本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。

4. アラーム時刻をセットする

- つまみを必ず 方向（反時計まわり）に回してアラーム時刻を合わせてください。
- アラーム時刻は10分間隔で合わせることができます。
- ※つまみを逆方向に無理に回さないでください。破損する恐れがあります。
- アラームは、セットした時刻の5分前から5分過ぎの間に鳴りだします。（例えば、7時に合わせたとき、6時55分から7時5分の間に鳴りだします。）

5. アラームを鳴らす、または鳴らさない、一度止めて再び鳴らす

【アラームを鳴らす】

- アラームスイッチをONにしてください。
- 設定した時刻にアラームが鳴ります。
- ※リセット後の受信中は、アラームが鳴りません。

【アラームを鳴らさない】

- アラームスイッチをOFFにしてください。
- アラームを完全に止めます。

【アラームを一度止めて再び鳴らす】

アラームを一度止めて、再び鳴らすには2通りの方法があります。

- ① **スヌーズ/ライトボタンを押す**
アラームは止まり、約5分後に再び鳴りだします。（スヌーズ機能）
●スヌーズ/ライトボタンを押すと約3秒間ライトが明るく点灯します。
 - ② **鳴っているアラームをそのままにする**
アラームは約2分間鳴って約5分間の停止を繰り返します。（オートスヌーズ機能）
●スヌーズ、オートスヌーズ機能はアラームスイッチをOFFにしないかぎり、約30～60分間使えます。
- なお、12時間後のアラーム設定時刻に再びアラームが鳴ります。

6. ライトを自動で点灯させるには

ライトスイッチを強または弱にしてください。
光センサーにより明るさを検出し、暗くなるとライトが自動点灯します。

- ・強 —— ライトを強く自動点灯
- ・弱 —— ライトを弱で自動点灯
- ・切 —— ライトは自動で点灯しません

※受信中はライトが消灯することがあります。

※照明をつけている場合でも、時計周辺の明るさによりライトが点灯することがあります。

※ライトを強で使用した場合、電池寿命が短くなる場合があります。

※ライトの色でアラームスイッチの状態がわかります。
アラームスイッチがONのとき : 緑色
アラームスイッチがOFFのとき : オレンジ色

その他の機能

■ 受信結果について

受信ボタンを1回押す（2秒以下）と、ライトが受信結果を表示します。

- ・点滅（3回） : 受信に成功しています。
- ・点灯（約3秒） : 受信できていません。
- ・消灯 : 受信中または自動受信機能がOFFです。

■ 自動受信について

毎日7回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

- 午前2、3、6、10時および午後2、6、10時の各16分に受信を開始します。

※自動受信のとき、秒針が「12時の位置」に停止することがあります。

■ 電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

受信ボタンを約3秒間押し続けてください。
針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。

受信に要する時間は、最長約16分間です。

- 受信中は針が停止します。
- 受信できなかった場合、針は元の時刻に戻り動きだします。場所を変えてもう一度受信させてください。
- 詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。

また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① セットボタンを約3秒以上押し続けてください。
手動時刻調整モードに入ります。
- ② セットボタンを1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで送り続けます。
- ③ ※セットボタンを押されている間は秒針が停止し、放すと動きだします。
約6秒以上セットボタンが押されなかった場合、自動的に手動時刻調整モードが終了します。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）
受信ボタンとセットボタンを同時に約3秒間押し続けてください。
秒針が早送りします

- ・秒針が「2時の位置」で停止 : 自動受信機能ON状態
- ・秒針が「10時の位置」で停止 : 自動受信機能OFF状態

●操作を繰り返すとON ⇄ OFFの設定が切り替わります。

※リセット後は自動受信機能がONの状態です。

※電波受信中は、設定ができません。

※OFFの状態では、受信結果の表示や手動による受信はできません。時刻を合わせる場合は、上記「2.手動で時刻を合わせる」に従ってください。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

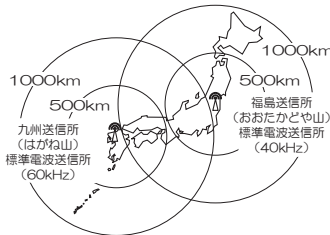
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間は、一部の時刻情報の送信が中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス www.seiko-clock.co.jp）

お手入れについて

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃ときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾きさしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりをとるときは、やわらかい布で乾きさしてください。

※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがつかないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

故障かなと思ったときには ▶

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわして、リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	・手動受信中または時刻修正中である。	・受信終了または時刻修正後、通常の運針に戻ります。
針が「12時の位置」で停止している	・自動または手動による受信中である。 ・暗くなり光センサーが作動している。	・受信が終了すると針が動き始めます。 ・室内を明るくすると秒針が動き始めます。
時刻が合っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・静電気等による誤動作 ・電池の容量が少なくなっている。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・電池を入れなおしてからリセットボタンを押してください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
ライトが自動点灯しない	・ライトスイッチが切になっている。	・ライトスイッチを強または弱にしてください。

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

- 光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止し、明るくなると秒針が動き出します。
- 秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

■ リセットについて

針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。
受信できない場合は、12時から運針します。

■ 使用上のご注意

- 海外でのご使用について
この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。左記「■自動受信を止めるには」をご参照のうえご使用ください。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

必ずお守りください。安全上のご注意

警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜アルカリ電池について＞

(1)ショート、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

窒息する恐れがありますので、ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

注意

けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜電池について＞

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

(1)製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておく、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(2)電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。

(3)付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。

(5)直射日光の当たる場所や、高温・高湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は、速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。

(6)時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾拭きしてください。

(7)付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

(8)充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜分解や改造をしない＞

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜時計と電池の廃棄について＞

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

製品仕様

(改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 精

度：月差±30秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温25℃で使用した場合)
- 使 用 温 度 範 囲：

－10℃～＋50℃
- 使 用 電 池：

単3形乾電池 4個
- 電 池 寿 命：

約6ヶ月(単3アルカリ乾電池(LR6)を4個使用時)
(1日につきアラームを30秒間、自動点灯を約7時間使用した場合)
- 電 波 受 信 機 能：

自動受信(1日7回)
(受信から次の受信まではクォーツの精度で動いています。)

手動受信
※40kHz、60kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
- ア

ラ

ー

ム：

ダンダントーン(だんだんテンボが速くなる電子音)
(約5分間スヌーズ)
オートスヌーズ(約2分間鳴って約5分間停止)
(約30～60分間使用できます)
- ア

ラ

ー

ム

精

度：

アラーム表示に対して±5分
- 時

刻

合

せ

機

能：

電波受信による自動セットまたは手動セット
- 受

信

結

果

確

認

機

能：

ボタン操作により受信結果をLEDで表示
- 光

セン

サー

による

自動

点

灯

機

能：

暗くなるとライトが点灯します。
(強⇄弱⇄切の選択式)
- 光

セン

サー

による

自動

秒

針

停

止

機

能：

暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。

※指針(針の表示)誤差について
アナログ時計の特性上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。

保証の内容については付属の保証書をご覧ください。

なお、保証書は日本国内のみ有効です。

また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。

この期間は原則として修理が可能です。

修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。

また、修理可能な場合でも、元どおりの精度にならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にお持ち参ください。販売店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

目ざまし時計

取扱説明書

電波クロック

この度はセイコークロック商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

必ずお読みになってからご使用ください。使用場所について

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本商品は業務用ではありません。



暑い場所(＋50℃以上)

●温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
(例)屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が－10℃以下になる所。
プラスチック部品や電池が劣化することがあります。



寒い場所(－10℃以下)

●ちり、ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み・遅れを生じたり、時計が止まるがあります。



振動の激しい場所

●浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車などに付着し、時計が止まるがあります。



湿気の多い場所

●ビニール系素材、壁や敷物等の上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。

●温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

●木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気が多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。

●本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

・ビルの中、ビルの谷間、地下

・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く

・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く

・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きやすい所

・乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)

・スチール机など、金属製の家具の上や近く

・その他、電波ノイズを発生させるものの近く

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。



本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(品番)をご確認のうえ、下記お客様相談室にお問い合わせください

(例：KROOO、NROOO、FDOOOなど)

お客様相談室0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号DKR-100Q